

## 4. SOMATOM X.cite の使用経験

山形市立病院済生館 中央放射線室

○佐藤祐介 阿部康一 高橋恵梨香 兵庫真紀 松田善和

### 【X.cite の特長】

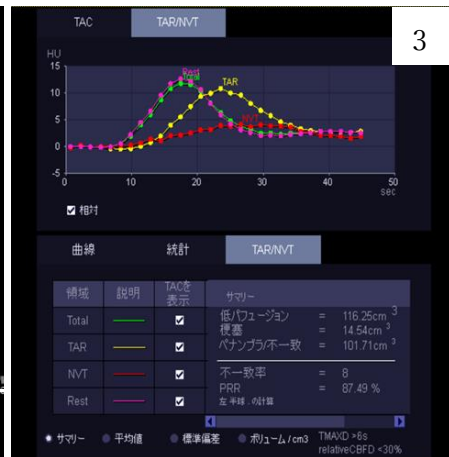
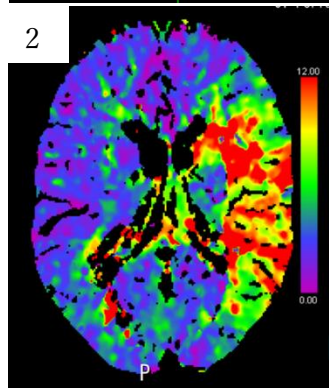
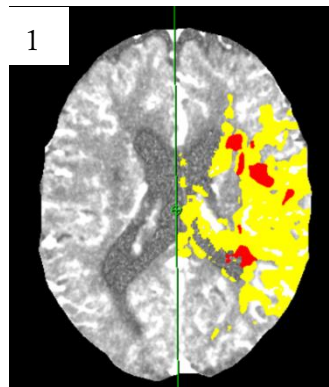
- 広いガントリボアサイズと FOV
- 幅広い設定が可能な管電圧
- 高出力な管電流 (最大 1200mA)
- 被ばく低減に寄与する Tin filter Technology
- AI 技術
- Perfusion 撮影
- DualEnergy 撮影

### 【当院での運用】

- 低管電圧撮影 (120kV を基本とし、検査目的に応じて低管電圧で撮影している)
  1. 造影効果を高める (CTAngio、下肢静脈などの血管系)。
  2. 造影剤を減らす(スクリーニング検査や腎機能が悪い方等)。
  3. 被ばくを減らす(小児等)。
- Tin filter Technology を使って被ばく・金属アーチファクト低減を行っている。
- AI 技術を用いて技師間での画像の差を小さくし、後処理の負担を減らしている。
- 脳梗塞疑いに対して、夜間休日でも素早く血栓回収術へ移れるように ASPECTS 解析から Perfusion 画像の送信まで誰でもできるように体制を整えた。
- IVR 後の脳・肺血流・骨折の有無・結石解析等、必要時 DualEnergy 撮影を用いている。



片腎の患者の低管電圧撮影  
管電圧 80kV 造影剤 40%減



- 1, ペナンプラ領域
- 2, TMAX
- 3, Perfusion 解析結果